

働き盛りの前立腺がん治療

～復職後を考えた最適治療の提案～



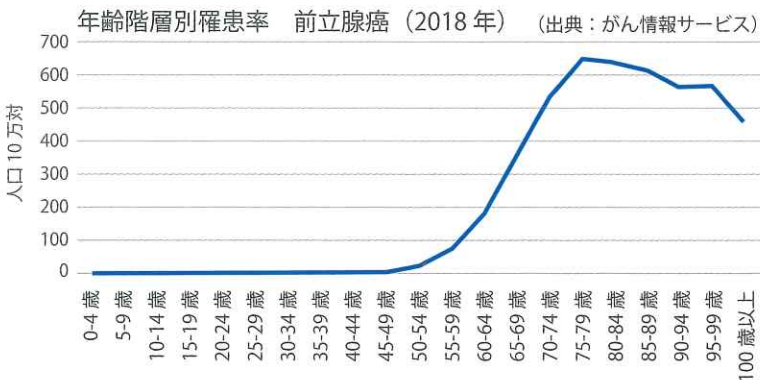
泌尿器科

木村高弘 診療部長

健康診断で前立腺がんの腫瘍マーカーの PSA 値が高いことが分かったとき、あなたならどうしますか？前立腺がんかな？まさか…。そんなことを思って眠れぬ夜を過ごす方もいらっしゃるかもしれません。

中高年の働き盛りで前立腺がんと診断されたら、仕事はどうしたらいいのか、治療後いつから復帰できるのか、とても心配です。悩みをしっかりと聞いて適切なアドバイスをしてくれるのが木村高弘診療部長です。

前立腺がんの主な治療は小線源治療（放射線）とロボット支援手術ですが、どちらの治療を選べばいいのでしょうか？



患者さんと医師がしっかり向き合い、最適な治療法を選択するためにおこなうのが Shared Decision Making という考え方。治療後の社会復帰に向けたタイミングや患者さんのライフスタイルなどを考慮して、相談した上で治療法を決めていきます。

動画概要

- ・ 前立腺がんの治療について・・・ 診療部長 木村高弘
- ・ 小線源治療について・・・ 診療副部長 三木健太

詳細については、QRコードを読み取り動画をご視聴ください。

